

報道発表

令和3年12月20日
名古屋税関
四日市税関支署

令和3年11月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和3年11月分について、輸出額は「事務用機器」などが減少したものの、「石油製品」、「自動車」などが増加したことから、対前年同月比27.8%の増加となった。また、輸入額は「重電機器」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石炭」などが増加したことから、同124.1%の増加となった。

その結果、差引額は727億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	888億円	+27.8%	1,615億円	+124.1%	▲727億円	28倍
8カ月連続の増加		8カ月連続の増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 石油製品	89億円	+120.2%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	893億円	+211.9%	
		(2) 自動車	125億円	+57.9%			(2) 石炭	96億円	11倍	
		(3) 有機化合物	67億円	+63.9%			(3) 液化石油ガス	102億円	+156.1%	
	減少品目	(1) 事務用機器	0億円	▲99.5%		減少品目	(1) 重電機器	2億円	▲83.5%	
		(2) 荷役機械	2億円	▲83.4%			(2) その他の採油用種子	0億円	▲92.6%	
		(3) 無機化合物	10億円	▲28.6%			(3) 半導体等電子部品	3億円	▲46.0%	
	地域別動向					地域別動向				
	アジア、西欧が増加、大洋州は減少					中東、アジアが増加、アフリカは減少				

（参考）ドルレートは、113.95円（前年同月比8.9%、9.27円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。